

開講科目名 / Course	小児看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	草野 淳子	
担当教員名 / Instructor	草野 淳子、足立 綾	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	小児医療および小児看護学の変遷と専門性、我が国の小児保健と児童福祉施策、医療・福祉を学ぶ。また、小児看護の役割と看護上の倫理を学ぶ。さらに小児各期の成長・発達の特性を学ぶ。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の特性および小児看護の役割を述べることができる。 2. 小児各期の成長・発達について述べるができる。 3. 子どもを取り巻く保健・医療・福祉の動向を述べるができる。 4. 小児各期の栄養について述べるができる。 5. 小児医療における倫理について述べるができる。 6. 自己の子ども観を述べるができる。 	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 小児看護の特徴と理念、小児と家族の諸統計 02. 小児看護と家族の特徴 03. 小児看護における倫理、子どもの権利 04. 小児看護で使用する理論 05. 小児の成長・発達 06. 乳児期の成長・発達と養育および看護 07. 小児の栄養 08. 遊びの機能と発達 09. 幼児期の成長・発達と養育および看護 10. 学童期・思春期・青年期の成長・発達と養育および看護 	
その他の授業の工夫	病棟での子どもの看護に対するイメージをどのように持っているかを「病棟での子どもに対する倫理的対応」というテーマでレポートにまとめる課題を課す。時間が許せば最終回に数名に発表をしてもらう。 小児のイメージがない学生もいるため、視聴覚教材を活用してイメージできるように工夫している。	
時間外学修	「子どもの倫理」に関するレポート課題（3h） 事前学修：教科書を用いて予習する（8h） 事後学修：教科書・講義資料を用いて復習する（8h）	
評価方法と評価割合	筆記試験（90％）、レポート（10％）を評価する。	
テキスト	系統看護学講座 専門看護学 小児看護学[1]（医学書院）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	草野淳子：保健所の保健師、産科病棟の助産師 足立綾：病院（小児科病棟）の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	保健所・病院での健康な小児、疾患を持つ小児に対する看護の経験を踏まえながら、現代社会の小児に対する看護を学生に教授する。	